

独立行政法人日本貿易振興機構
2021年度 第2回契約監視委員会 議事概要

1. 日時：2021年11月30日（火）13:00～14:30
2. 場所：日本貿易振興機構10階会議室
3. 出席者：中村信男委員長、尾花真理子委員、高木和人委員、中里浩之委員、岩城宏斗司委員
4. 議事：
 - (1) 調達等合理化計画について（状況報告）
 - (2) 2021年度における一者応札・応募であった案件の事後点検
 - (3) 2021年度における競争性のない随意契約に係る点検
 - (4) その他

5. 議事概要：

(1) 調達等合理化計画について（状況報告）

事務局より令和3年4月から9月までの速報値および調達等合理化計画の進捗状況について報告。

(2) 2021年度における一者応札・応募であった案件の事後点検

事務局より2021年4月から9月に実施した案件につき説明。

<委員からの主な意見・質問等>

○総合評価の実施において、抽象的な評価項目に高い配点を与えると、従来の業者に有利だと捉えられてしまう可能性があり、新規業者の参入を妨げることが懸念される。したがって、新規業者でも応札しやすいよう、評価項目及び評価基準はより具体的に記載する等の改善をした方が良いと思われる。

○総合評価における基礎点項目および加点項目を設定する際は、受託者に期待される業務遂行能力と質の高さを適切に評価できるような内容にするべき。

(3) 2021年度における競争性のない随意契約に係る点検

事務局より2021年4月から9月に実施した案件につき説明。

<委員からの主な意見・質問等>

○随意契約の締結に先立ち、契約金額の妥当性、KPIの設定等において十分な検証が適切に実施されていたことが確認できた。また、受託者から、個人情報保護に配慮した上で業務に必要なデータを入手可能とした点も確認できた。

○随意契約となった経緯について、良く理解できた。契約先との交渉は容易ではなかったと思われるが、KPIの検証に必要なデータを獲得する交渉も上手く行っていることが確認できた。

以上